

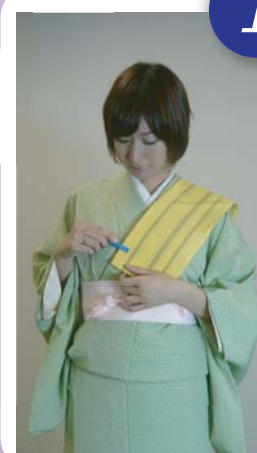
帯結び

(一重太鼓)



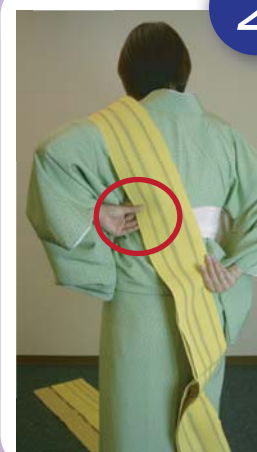
※個人・流派等により着方・道具が異なる場合がございます。

1



て先を、輪を首側に向け左肩に掛け、みぞおちに合わせピンチで留める

2



左手を腰に当て、親指で「て」を押さえる。

3



そのまま親指を軸にして帯を折り上げる。

4



左手の親指で帯を押さえたまま帯を巻いていく。

5



胸にひと巻きし、左手の親指で帯を押さえたまま、帯の下線を持って右脇でぐっと締める。

6



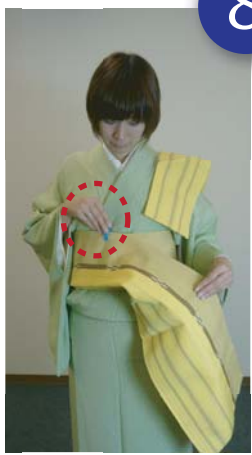
ふた巻き目に帯板を入れる。

7



左手の親指を元に戻してふた巻き目を巻き、⑤同様右脇でぐっと締める。

8



て先を押さえていたピンチを外し、たれと前帯を留める。

9



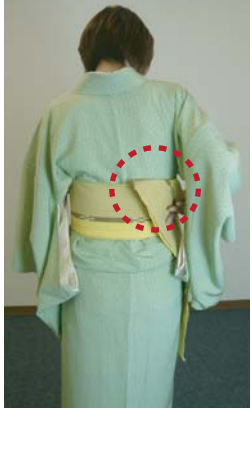
て先を肩から外し、背に倒す。

10



右手で、て先を持ち、右脇まで引く。

11



左手で、て先を斜めに引き、左肩甲骨下、帯の下の位置にての輪を合わせる。

12



交わった位置で3枚(て先と帯)をピンチで留める。

13



帯の上に来た三角を、両手の親指で、ぐっと帯の中に入れ込む。





24

お太鼓に帯×を通し、両脇でぐっと引いてから、しっかりと結ぶ。



20

人差し指で帯を内側に折り、お太鼓の下線を作って左手で押さえ、右手でたれをたくし上げる。



16

帯枕の紐を結び、帯の中にくっと入れ込む。



14

帯枕の山を下に向け、平らな方を親指、反対側を4本の指で持って、帯の上線から15cm強の位置に当てる。(※予め帯揚を掛けておく)



25

仮紐を外し、帯揚をきれいに結びなおす。



21

両手の人差し指の長さを目安にたれの長さを調節する。



17

帯揚を前だからげ、帯の中に差し込んで仮留めしておく。



15

たれを帯枕ごと帯の上線にのせ、帯枕の紐を両脇でぐっと下に引いて、背中にしっかりと当てる。



26

完成♪



22

仮紐を前で結ぶ。



18

帯枕の下をざっと平らに整える。



15

たれを帯枕ごと帯の上線にのせ、帯枕の紐を両脇でぐっと下に引いて、背中にしっかりと当てる。



23

て先をお太鼓に通し、お太鼓の右から2〜3cm出す。



19

帯のたれに仮紐を当てる。



15

たれを帯枕ごと帯の上線にのせ、帯枕の紐を両脇でぐっと下に引いて、背中にしっかりと当てる。



慣れるまで
じっくり復習
してみましよう♪